

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名:言語学習モデルによる回復期リハビリテーションにおける日常生活活動および入院期間の予測モデル開発

本研究は済生会守山市民病院の医学研究倫理審査委員会で審査され、済生会守山市民病院の医学研究倫理審査委員長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2019 年 10 月～2024 年 9 月の間に、済生会守山市民病院回復期リハビリテーション病棟を入退棟された方

2. 研究目的・方法・研究期間

<研究目的>

本研究の目的は、自然言語処理を利用した機械学習により時系列情報を反映した回復期リハビリテーションにおける日常生活活動および入院期間の予測モデルを作成することです。予後予測によるリハビリテーション治療計画の精度や質の向上は、高いアウトカムを継続する実診療においてますます重要となっています。本研究の成果は、医療の質や安全性の向上および高度化・複雑化に伴う医療業務の増大に対応するチーム医療の実現の一助となりうると考えています。

<研究方法>

済生会守山市民病院回復期リハ病棟に入院された方の下記の研究に用いる情報を電子カルテなどから収集し、済生会守山市民病院、済生会滋賀県病院、藤田医科大学、国立大学法人滋賀大学、奈良先端科学技術大学院大学の共同でデータ解析を実施します。

<研究期間>

倫理審査承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:性別、年齢、疾患名、疾患分類、起算日、入棟日、退棟日、退棟先、介護保険の有無(区分)、日常生活動作の能力、カルテ記録など、リハビリテーション診療に関する内容

4. 外部への試料・情報の提供

済生会守山市民病院からのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、済生会守山市民病院の研究分担者が保管・管理します。データは、個人を識別できないようにし、個人情報特定できるデータが院外に出ることはありません。具体的には、済

生会守山市民病院の研究者のみが、データの保管場所とパスワードを把握し、それ以外のものには伝えません。情報の提供の授受は、保存記憶装置にコピーし、手渡しで行う。なお、情報の提供の授受の都度、①共同研究機関の名称・研究責任者の氏名等、②提供元の機関における取得の経緯③情報の項目、④共同研究機関の所在地等が記載された記録を作成します。試料・情報の管理について責任を有する者は、下記の通りです。

済生会守山市民病院 医事課 係長 河野宏樹
済生会滋賀県病院 経営企画課 課長 水島貴澄
藤田医科大学 講師 伊藤慎英
滋賀大学 准教授 池之上辰義
奈良先端科学技術大学院大学 教授 荒牧英治

5. 研究組織

研究機関の長:済生会守山市民病院 院長 野々村和男
研究責任者:済生会守山市民病院 院長 野々村和男
研究代表者:済生会守山市民病院 院長 野々村和男

共同研究機関:

研究責任者:済生会滋賀県病院 院長 三木恒治
研究責任者:藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科 講師 伊藤慎英
研究責任者:滋賀大学データサイエンス AI イノベーション研究推進センター 准教授 池之上辰義
研究責任者:奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授 荒牧英治

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

7. 利益相反について

この研究では、済生会守山市民病院と滋賀大学との共同研究契約(2022 年 10 月から 2023 年 3 月、2024 年 4 月から 2025 年 3 月)に基づき、済生会守山市民病院から滋賀大学に共同研究費の提供を行っています。また、公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団の第 32 回

2023 年度の研究助成(代表者:滋賀大学 池之上辰義)を受けています。その他に、開示すべき利益相反はありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

済生会守山市民病院

担当者:野々村和男

住所:〒524-0022 守山市守山四丁目 14 番 1 号

電話番号:(代表)077-582-5151

E-mail: soumu@saiseikai-moriyama.jp